

令和4年度明石市国民健康保険事業特別会計予算（案）について

1 令和4年度予算編成における概要

世帯数及び被保険者数は後期高齢者医療制度へ移行する被保険者の増加により予算は年々縮小傾向にあり、令和4年度の予算総額は前年度の約99%で約291億円となります。

<世帯数及び被保険者数等の推移>

	世帯数	被保険者数	介護2号被保険者
令和2年度（実績）	37,451世帯	57,605人	17,695人
令和3年度（見込）	37,000世帯	57,000人	18,400人
令和4年度（見込）	36,000世帯	55,000人	17,200人

保険給付費の総額は約1.4億円の減少となりますが、令和3年度はコロナによる受診控えの影響も少なくなり例年どおりの水準に戻ったため、1人当たり医療費は被保険者の高齢化や医療の高度化により、増加傾向が続くと見込んでいます。

また、国民健康保険料は被保険者数の減少により前年度の約95%となります。

2 令和4年度の取り組み方針

① 医療費適正化及び保健事業の推進

医療費適正化の推進として、後発医薬品の希望カード等の配付や、先発医薬品を使用している被保険者に対して、後発医薬品との差額を記載した通知を年2回送付するなど、普及促進に向けて引き続き取り組みます。

保健事業では、新規事業として特定健診の結果により生活習慣病のハイリスク者に該当する方を対象に、スマホとスマートウォッチを活用した健康管理支援事業を行います。

② 保険料の収納率向上対策の推進

携帯電話等へメールを送信するSMSを活用し、滞納初期対応を図るとともに、隔月の休日夜間納付相談を行うことで、相談者の事情による分納等にも応じ、積極的な滞納処分や執行停止を展開しています。

今後も先進事例を参考に、引き続き高い収納率の維持に努めます。

3 令和4年度明石市国民健康保険特別会計予算（案）

（単位：千円）

（歳入）

予算科目	令和4年度	令和3年度	差	前年度比	主な増減理由
① 国民健康保険料	5,264,025	5,536,912	▲ 272,887	95.07%	被保険者数の減少のため
② 県支出金	20,508,095	20,643,796	▲ 135,701	99.34%	被保険者数の減少に伴う 保険給付費の減少のため
③ 基金運用収入	500	500	0	100.00%	
④ 繰入金	3,305,415	3,248,052	57,363	101.77%	保険料収入の減少に伴う 繰入金の増加のため
⑤ 一部負担金	0	2	▲ 2	0.00%	
⑥ その他収入	45,615	45,718	▲ 103	99.77%	
合 計	29,123,650	29,474,980	▲ 351,330	98.81%	

（歳出）

予算科目	令和4年度	令和3年度	差	前年度比	主な増減理由
① 総務費	460,220	458,036	2,184	100.48%	
② 保険給付費	20,040,343	20,180,471	▲ 140,128	99.31%	被保険者数の減少のため
③ 納付金	8,085,574	8,305,079	▲ 219,505	97.36%	被保険者数の減少のため
④ 保健事業費	209,397	203,277	6,120	103.01%	新規事業の開始等による 増加のため
⑤ 基金積立金	500	500	0	100.00%	
⑥ その他支出	326,116	326,117	▲ 1	100.00%	
⑦ 予備費	1,500	1,500	0	100.00%	
合 計	29,123,650	29,474,980	▲ 351,330	98.81%	